

MITSUBISHI

三菱電機 **ビル** 空調管理システム

受光アダプター

PAR-FA33M

据付説明書

この説明書は受光アダプターの据付についてのみ記載しております。空調機本体への配線および空調機本体の据付方法に関しては、空調機本体の据付説明書をご覧ください。
また安全のため、下記 **1 安全のために必ず守ること** をよくお読みのうえ、据付けてください。

1 安全のために必ず守ること

●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を表示で区分して説明しています。

- 警告** 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があります。
- 注意** 誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋、家財などの損害に結びつくもの。

●お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
移設・修理の際は工事される方に、又お使いになる方が変わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しください。

警告

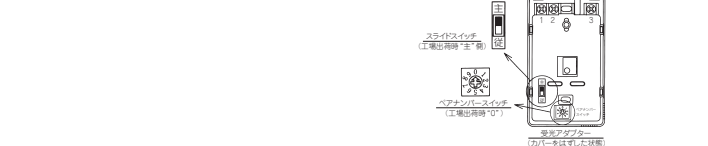
- 据付けは、販売店または専門業者に依頼する。**
お客様自身で据付工事をされ不備があると、感電、火災等の原因になります。
- 据付けは、質量に充分耐える所へ確実にこなす。**
強度が不足している場合は、本機の落下により、けがの原因になります。
- 配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。**
接続や固定が不完全の場合は、発熱、火災等の原因になります。
- 改造、修理は絶対しない。**
改造したり、修理に不備があると感電、火災等の原因になります。修理はお買上げの販売店にご相談ください。
- 据付工事は、この据付説明書に従い確実にこなす。**
据付けに不備があると、感電、火災等の原因になります。
- 電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」及び据付説明書に従いこなす。**
電気回路容量不足や施工不備があると感電、火災等の原因になります。
- お客様自身で移設はしない。**
据付けに不備があると感電、火災等の原因になります。お買上げの販売店または専門業者にご相談ください。

注意

- 可燃性ガスの漏れを恐れるある場所へ据付けない。**
万一ガスが漏れた本機の周囲に溜まると発火、爆発の原因になることがあります。
- 特殊環境には、使用しない。**
油（軽油を含む）、蒸気、硫化ガスなどの多い場所で使用すると性能を著しく低下させたり、部品が破損したりする場合があります。
- 病院、通信事務所などに据付けられる場合は、ノイズに対する備えを充分に行なう。**
インバータ機器、自家発電機、高周波医療機器、無線通信機器等の影響による本機の誤動作や故障の原因になったり、本機側から医療機器あるいは通信機器へ影響を与え、人体の医療行為を妨げたり映像放送の乱れや雑音などの弊害の原因になることがあります。
- 配線は張力が強かからないように配線工を行なう。**
断線したり、発熱、火災の原因になることがあります。
- リモコンコード引込口をパテで確実にシールする。**
露、水、ゴキブリ、虫等の侵入のため、感電、故障の原因になることがあります。
- 本機を水洗いしない。**
感電、故障の原因になることがあります。
- 本機を据付ける付近の温度が40℃以上、0℃以下になる場所、または直射日光のあたる場所には据付けない。**
変形、故障の原因になることがあります。
- 浴室、厨房など大量の湯気が発生するところには据付けない。**
壁が結露するような場所は避けてください。感電、故障の原因になることがあります。
- 酸性、アルカリ性の溶液、特殊なスプレー等頻繁に使用する所へ据付けない。**
感電、故障の原因になることがあります。
- 配線は、電流容量に合った規格品の電線を使用すること。**
漏電や発熱、火災の原因になることがあります。
- 濡れた手でボタンを操作しない。**
感電、故障の原因になることがあります。
- ボタンを先のとがった物で押さない。**
感電、故障の原因になることがあります。
- AC100VやAC200Vは絶対に印加しない。**本機への印加電圧は最大DC12Vです。
破壊、発熱、火災の原因になることがあります。
- 基板を手や工具などで触ったり、ほこりを付着させない。**
火災、故障の原因になることがあります。
- 濡れた手でボタンを操作しない。**
感電、故障の原因になることがあります。
- ボタンを先のとがった物で押さない。**
感電、故障の原因になることがあります。
- AC100VやAC200Vは絶対に印加しない。**本機への印加電圧は最大DC12Vです。
破壊、発熱、火災の原因になることがあります。

4 スイッチ設定方法

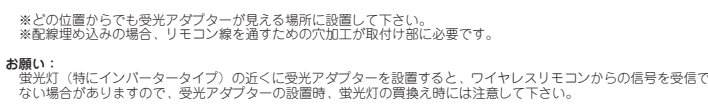
受光アダプターおよびワイヤレスリモコンのペナナンバーを合わせます。
ワイヤレスリモコンのペナナンバーは、ワイヤレスリモコンの据付説明書を参照して設定して下さい。
受光アダプターの設定スイッチは下記の様になっています。
(カバーの外し方は、**6 据付方法**を参照して下さい。)



- ペナナンバースイッチを操作してペナナンバーを設定します。**
★ペナナンバー……ワイヤレスリモコンから操作する受光アダプターを指定するための番号です。
ワイヤレスリモコン、受光アダプターとも0~9まで10種類の設定が可能です。
ペナナンバーは使用するワイヤレスリモコンと合わせて下さい。
- 設定例**
 - 同じ部屋で使用する場合
 - 個別設定
各室内ユニットを固有のワイヤレスリモコンで操作できます。
 - 同一設定
各室内ユニットを同一のワイヤレスリモコンで操作できます。
 - 異なる部屋で使用する場合
各受光アダプターとワイヤレスリモコンは同一のペナナンバーに設定します。(購入時の設定のままにして下さい。)

5 据付方法

- 受光アダプター（スイッチボックス）の据付位置を決めて下さい。**
但し下記事項を必ず守って下さい。
 - 壁、天井、スイッチボックスのいずれに据付ける場合でも、右図で示すスペースを確保して下さい。
(間隔が十分でない、取付けられない場合があります。)
 - 本機をスイッチボックスに取付けた場合、右図のように据付時の中心が下方に0.5mmずれまますのでご注意ください。
 - スイッチボックスに取付けた場合、下記の部品は現地で調達して下さい。
 - 1個用スイッチボックス (JIS C8340)
 - 薄鋼電線管 (JIS C8305)
 - ロックナット、フッティング (JIS C8330)
- 壁面または天井面でのワイヤレスリモコンから受光可能な位置に取付けて下さい。(下図参照)



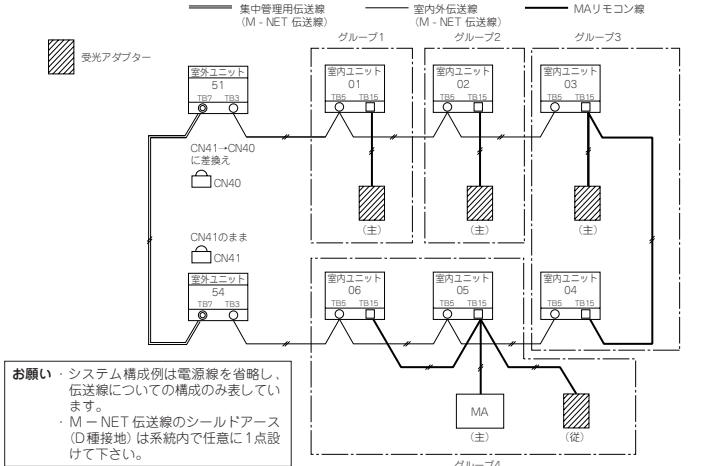
※どの位置からでも受光アダプターが見える場所に設置して下さい。
※配線埋め込みの場合、リモコン線を通すための穴加工が取付け部に必要です。

2 部品確認

- 箱の中にはこの説明書のほかに次の部品が入っていますのでご確認ください。
- 受光アダプター……………1
 - 十字穴付きナベネジ M4×30……………2
 - 木ネジ M4.1×16 (壁に直接取付ける時使用)……………2
- お願い** リモコンコードは現地手配となります。
下記に示す仕様と相当する電線を用意して下さい。
・0.3～1.25mm²の2芯ケーブル (CVV, CVS, VVF)
受光アダプターの配線引込み部は最大で1.25mm²の電線を通せます。
但し、作業上0.75mm²の電線を推奨します。
許容配線長さなど詳細については、室外機付属の据付説明書を参照して下さい。

3 システム構成例

リモコンの配線はフリーブランドシステム (Cタイプ以降) に接続します。
(フリーブランドシステムの場合の配線)

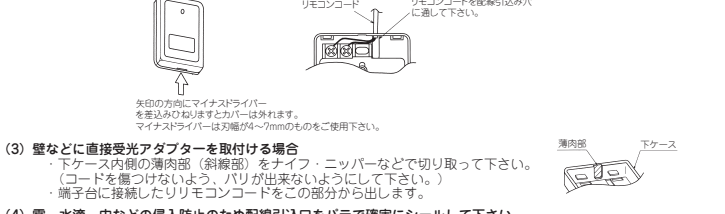


- 受光アダプターからの配線
・室内ユニットのMAリモコン線用端子台 (TB15) へ接続します (極性はありません)。
- グループ運転する場合 (上記グループ3及びグループ4)
・グループ運転する室内ユニットのMAリモコン線用端子台 (TB15) を渡り配線した後、グループ内の最小アドレスとなる室内ユニットへ接続します。

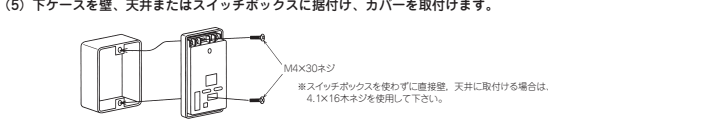
お願い 異冷媒系でグループ運転する場合、MAリモコン線用端子台 (TB15) のみ渡り配線し、室内外伝送線用端子台 (TB5) は渡り配線しないで下さい。

※MAスマートリモコンとの併用はできません。
※室内ユニット、室外ユニットの設定方法については室外ユニット付属の据付説明書を参照して下さい。
※集中コントローラ、伝送線用給電ユニットの設定方法については、機器付属の説明書を参照して下さい。

(2) リモコンコードを端子台に取付けます。



- 壁などに直接受光アダプターを取付ける場合
下ケース内側の薄肉部 (斜線部) をナイフ、ニッパーなどで切り取って下さい。
(コードを傷つけないよう、バリが出来ないようにして下さい。)
端子台に接続したりリモコンコードをこの部分から出します。
- 露、水滴、虫などの侵入防止のため配線引込口をパテで確実にシールして下さい。



6 試運転

試運転方法については、ワイヤレスリモコンの据付説明書を参照して下さい。